



チェックシベツ

教育目標
 たくましい身体の子ども
 ねばり強く働く子ども
 進んで学ぶ子ども
 美しく豊かな思いやりのある子ども

秩父別小学校だより 第10号（令和2年12月25日）【発行責任者 山田 禎史】

【安全で有意義な冬休みを過ごすために】

新型コロナウイルス感染防止対策を余儀なくされ、4月から5月まで臨時休業となった影響は大きく、授業時数の確保に向けた様々な取組を進めて参りました。1学期末には、夏休みの開始を9日間短縮し、登校日としましたが、加えて2学期は5時間授業を6時間にし、高学年は毎日6時間授業を実施してきました。それに加え、冬休みを2日間短縮しました。

このような努力もあって、ようやく授業時数の回復に目処がたち、3学期からは、通常の授業時数で学習することができる状況となりました。

しかし、当面は感染拡大に歯止めがかからない状況に変わりはありません。当分の間、『学校の新しい生活様式』に従い、『マスクの着用』や『健康観察』『活動を制限した形での学習』を余儀なくされることとなりますが、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、前回の学校便りでお知らせした「命の大切さ」について、全校朝会でのお話を紹介いたします。

（以下一部抜粋）

病気のために、長い間、入院していた女の子がいました。名前は、宮越由貴奈（みやこしゆきな）さんといいます。

長く入院していて、学校に行くことができないので、病院の中にある教室に通って勉強していたのですが、その宮越さんが4年生の時に、理科で「電池の学習」をして、その後に「命」という詩を書いたそうです。⇒（拡大した詩を掲示して読み上げました。）

この詩を書いた4ヵ月後、由貴奈さんは、11歳で亡くなりました。

由貴奈さんは、病気のために、生きたくても 生きられませんでした。

世の中には、重い病気になっても、「生きたい!」と願って一生懸命治療をしている人がたくさんいます。病気の人を「何とか生かしてあげよう」と一生懸命頑張っているお医者さんもあります。

しかし、健康な身体でいるのに、いやなことがあるからといって、自分から死んでしまおうとする人も世の中にはいるのです。本当に残念なことです。命はとっても大切です。命は絶対に粗末にはしてはいけません。



命
 宮越 由貴奈 作 小四

さて、明日から23日間の冬休みに入ります。終業式では、『人間だもの』で有名な『みつを』さんの『いのち』という詩を紹介し、命の大切さについて、再度お話しします。

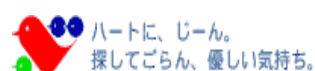
この冬休みも安全に十分気をつけ、自らの命も他者の命も大切に、健やかに生活して欲しいと思います。ご家庭でも、お子様と話し合っただけであれば幸いです。

1月の行事予定①

- 1日(金) 元旦 年始休業日
学校閉庁日
- 2日(土) 年始休業日 学校閉庁日
- 3日(日) 年始休業日 学校閉庁日
- 4日(月) 学校閉庁日
- 5日(火) 学校閉庁日
- 11日(月) 成人の日
- 13日(水) 第3回学校運営協議会
- 18日(月) 3学期始業式 安全点検日
定時退勤日 交通安全指導
職員会議 A日課全校5時間授業
- 19日(火) 貯金日 交通安全指導
- 20日(水) B日課(3.4.5.6年6時間授業)
研修⑨ 2年外国語
交通安全指導

1月の行事予定②

- 21日(木) スキー学習(5・6年)
- 22日(金) スキー学習(3・4年)
定時退勤日 1年外国語
後期児童会⑤
- 25日(月) 新年度計画会議①
A日課全校5時間授業
- 26日(火) スキー学習(1・2年)
- 27日(水) B日課(3.4.5.6年6時間授業)
自由参観日 学年レク(2年)
薬物乱用防止教室(5・6年)
- 28日(木) スキー学習(3・4年)
- 29日(金) スキー学習(5・6年)



スポーツ集会

15日(火) 2の休みと昼休みに、児童会保健体育部が中心になり、スポーツ集会が開催されました。現状ではなかなかたくさんの子供が集まって遊ぶことは難しくなっていますが、この時間ばかりはと子供達の嬉しそうな表情と楽しそうな笑い声が体育館に溢れていました。低学年はしっぽとりゲームで遊び、高学年はドッジビーを楽しみました。今後も感染予防対策をしっかりと行い、子供達が生き生きと活動できる取組を継続していきたいと思えます。



困ったときに、役立ちます↓

冬休みに向けて

現在のコロナ禍の中、さまざまなことに自粛が求められています。保護者の皆様・子供達においても、心が晴れないことも多々あると思います。近年、長期休業明けに児童生徒の自殺が増加している傾向があります。要因は、「いじめ」「心の病」「生活の乱れ」等、多岐にわたり、どこが入り口になるかはわかりません。

保護者の皆様は、日頃からお子さんとしつかりとコミュニケーションを図り、子供達の思いを汲み取り心のケアに努められていることと思いますが、心の中をすべて見通すことはむずかしいのではないのでしょうか。もし、子供達が何か困ったことがあれば、対応してくれる「子ども相談支援センター」の相談窓口もありますので、紹介させていただきます。また、冬休みには、クリスマス・大晦日・お正月とさまざまな行事がありますが、子供達の生活のリズムを崩さないようにご配慮いただくようお願いいたします。

こ ぞうだんしえん 子ども相談支援センター ぞうだんまどぐち し 相談窓口のお知らせ

- ・いじめられている・・・
- ・学校に行きたいのにいけない・・・
- ・誰かに聞いてほしい・・・

そんなときに、相談できる窓口があります。

●電話相談

0120-3882-56

(無料、毎日24時間対応)

●メール相談

doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp

※急ぎの場合は電話相談を利用してください。

※以前ご協力いただいた保護者アンケートと児童アンケートの結果を配付いたします。ご協力ありがとうございました。これからもさらに信頼される学校を目指していきます。(12月25日配付)